

人間動物関係学特論演習（一）（2単位）

担当者氏名 小川 博・佐々木剛・松林尚志・岡 奈理子

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

人間動物関係学特論（一）で教授された学理を、野外調査や実験分析において実践していくための技術修得を目的とする。具体的には、野生動物の家畜化と系統分類に関する研究、鳥類の繁殖、生態、内分泌に関する研究、哺乳類の生態、行動、保全に関する研究などを遂行するための手法などを修得し、研究に応用できることを目標とする。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

野生動物	野外調査	生態調査	繁殖
行動	保全技術	内分泌	系統分類

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	遺伝学的解析技術(1)	分子生物学実験の理論と実践1：DNA抽出とPCR	◎野生動物を対象とした研究手法についての基礎的な手法を修得する。◎指示された内容について、事前に準備を行う。講義時間内では終了しない内容については適宜終了まで実施する。
2	遺伝学的解析技術(2)	分子生物学実験の理論と実践2：遺伝子組み換え	
3	遺伝学的解析技術(3)	分子生物学実験の理論と実践3：塩基配列決定法	
4	遺伝学的解析技術(4)	DNA配列情報の処理と実験系のデザイン	
5	遺伝学的解析技術(5)	DNA多型を用いた集団遺伝学的解析と分子系統解析	
6	生理学的解析技術(1)	鳥類の人工繁殖技術	
7	生理学的解析技術(2)	内分泌学的手法	
8	生理学的解析技術(3)	各種試料からのホルモン測定法	
9	生理学的解析技術(4)	ストレスに対する生理反応	
10	生理学的解析技術(5)	鳥類における発生工学的手法	
11	野外調査法(1)	各種の個体数推定法、研究のための各種捕獲法	
12	野外調査法(2)	テレメトリーをはじめとする各種の行動追跡法	
13	野外調査法(3)	標本作成法	
14	野外調査法(4)	GISをはじめとする調査情報の収集・解析法	
15	野外調査法(5)	アンケート処理等の調査情報の収集・解析法	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

野生動物の研究と管理技術/鈴木正嗣 編訳/文永堂（2001）

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

レポートにより評価する

◆オフィスアワー

毎週月曜日と火曜日の2限に研究室で質問等を受け付ける。

◆その他受講上の注意事項

講義日を変更する場合がある